

さあ、いよいよ開幕です (アナウンス)

最近よく“協働”って言うけれど、何のこと？ むつかしいこと？

私には関係ない？

いいえ、日常的に、みんなが、関係していることです。

例えば、ごみ。一人ひとりがごみ出しルールを守らなかったら、家の周りも、まちの中も、汚れてしまいますよね。

みんなが環境を守り、まちを育てるために、気遣い、協力し合うこと、それが“協働のまちづくり”のはじまり。

このほかにも地域には、福祉・環境・防災・教育など私たちに共通のテーマが、たくさんあります。

地域や市内にとどまらず、もっと広く大きなテーマもあります。

たとえば地球温暖化。この世界規模の課題に対しても、私たち一人ひとりの暮らし方は、直接的にそして深く関係しています。

資源の枯渇・森林減少・砂漠化・飢餓…これら人類が直面する課題に対して、私たち一人ひとりの行動が直接にあるいは間接的に、影響を及ぼす時代なのです。

地域の問題から地球規模の課題まで、お互いに気づき合い、話し合い、ともに協力し、できることから取り組むのが、“協働のまちづくり”と言えるでしょう。

一人の関わりから始まり、二人、二人より三人とみんなが集まることで、テーマが広がり、より大きな課題の解決や創造が可能となります。

安心・安全の、より良い環境を築くため、地域を見つめ直してみましよう。

世界に目を向けながら、今一度、地域を振り返ってみましよう。

私たちの暮らすまちが、いきいきと輝くためには、行政だけでなく、みんなが主役となって展開する“協働のまちづくり”が欠かせません。

ステージは、もちろん、岐阜のまち。そして、世界に向かって発信しましよう。

この指針は、“協働のまちづくり”を進めるに当たり、市民と行政の共通のガイドラインとして、また、明日の住民自治への最初のシナリオとして、多くの市民の皆さんからご意見をお寄せいただきながら、ここに完成しました。

“協働のまちづくり指針”は、具体的な行動に向けてのスタートラインであるとともに、今後、市民の参画により「住民自治基本条例」を検討していく上での第一段階としても位置付けられます。

さあ、明日の岐阜市を目指す“協働のまちづくり”の第1ステージ、

いよいよ、開幕です。主役は、あなた。

平成16年3月

岐阜市協働のまちづくり指針策定検討委員会

